

事務事業及び予算の執行実績（令和２年度分）

「一部、令和３年度分を含む」

静岡県立静岡視覚特別支援学校

目 次

事務事業の概要	1
事務執行の根拠法令調	19
学校施設の概要	20
在籍生徒調	22
入学志願者及び入学者数調	23
卒業生の動向調（特別支援学校用）	24
生徒の状況	25
預金調	27
郵券等受払調	27
委託料等歳出予算執行状況節別集計表	28
委託料に関する調	29
補助金支出調	31
負担金支出調	32
建築工事調	33
公有財産調	35
借地借家等調	36
事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調	37
行政財産貸付・使用許可調	38
主要備品調	39
職員調	40
職員の年齢調	43
健康管理	44

事務事業の概要

1 概況

(1) 学校の沿革

明治	30. 8. 1	東海訓盲院予備科開始
	31. 3. 2	東海訓盲院(現掛川市紺屋町)設立認可
大正	6. 1.15	静岡県安倍郡安東村(現静岡市)に移転
	6. 5.28	学則変更、私立静岡盲啞学校となる。
	7. 7.12	静岡市二番町に校舎新築、移転
	13. 4. 1	省令により私立静岡盲学校と、私立静岡聾啞学校に分離
	15. 4. 1	静岡県立代用校に認可される。
昭和	8. 4. 1	両校合併、静岡盲啞学校として経営を静岡県に移管される。
	9. 4. 1	盲啞分離、静岡県立静岡盲学校となる。
	12.10.19	静岡市曲金一丁目(現在地)に新築移転
	23. 4. 1	小学部、中学部、高等部設置
	27. 4. 1	高等部専攻科課程設置
	28. 3.31	あんま師、はり師、きゅう師、柔道整復師養成施設認可規則により、文部大臣より高等部理療科が認可される。
	37. 7. 2	体育館兼講堂新築完成
	48. 4. 1	高等部本科浜松盲学校に統合 幼稚部設置
	52. 3.19	寄宿舍新築完成
	52. 3.29	静岡県教育委員会規則第2号により、静岡県立盲学校学則の一部改正に伴い、高等部専攻科は廃止される。
	52. 4. 1	高等部別科は、浜松盲学校の分室となる。
	53. 2.28	校舎第1期工事(管理棟)完成
	53.11.30	校舎第2期工事(学習棟)完成
	55. 6.30	プール(15×10m)、プール管理棟完成
	55.12.15	歩行訓練施設完成
	58. 3.31	学習園完成
	62. 2. 3	屋外養護訓練設備完成
平成	2. 4. 1	静岡県教育委員会規則第12号により、静岡県立盲学校学則の一部改正に伴い、高等部保健理療科が設置される。
	5. 1.31	運動場改修工事完了
	9.10.31	校舎耐震補強工事(管理棟)完了
	10. 2.27	体育館新築完成
	10. 4. 1	盲学校超早期教育推進事業実施
	10. 9.14	校舎耐震補強工事(学習棟)完了
	14. 2.28	寄宿舍耐震補強工事完了、増築棟新築完成
	14. 4. 1	静岡県立静岡盲・聾学校寄宿舍合築、共生始まる。
	20. 4. 1	校名変更、静岡県立静岡視覚特別支援学校となる。
	26. 2. 6	災害用仮設トイレ設置工事完了
	27. 2. 6	蓄電池付太陽光発電設備工事完了
	31. 3.27	普通教室空調設備設置工事完了
令和	3. 1.22	特別教室空調設備設置工事完了

(2) 組織図



2 目指す学校像 校訓「明るく 強く」

(1) 教育目標 「自立と社会参加を目指し、可能性を広げる」

様々なことに興味を持ち、夢や目標に向かって主体的に知識・技能及び習慣を身につける。
相手の立場を尊重し、周りとのコミュニケーションをとって行動できる態度を身につける。
生活のリズムを身につけ、運動に親しみ、健康でたくましい体をつくる。

(2) 目標具現化の柱 「信頼され、選択される学校」

- ア 一人一人に応じた、生活につながる基礎的・基本的な知識・技能及び習慣を育む。
- イ 安全で生き生きと生活できる豊かな学習環境を整える。
- ウ 専門性の維持・継承と授業力を向上させると共に、そのための時間を生み出す。
- エ 視覚障害教育の情報発信の充実を図る。

3 監査対象期間の年度別学校経営の取組等

(1) 令和2年度の取組目標への評価及び成果と課題

評価の基準 A：十分良い B：概ね良い C：やや不十分 D：不十分

ワンチームによる継続的で持続可能な学校運営(協力・信頼・チャレンジ)

ア 一人一人に応じた、生活につながる基礎的・基本的な知識・技能及び習慣を育む

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
○基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得と思考力・判断力を育む学習や生活をつくる。	個別の指導計画の目標と評価を具体的に設定することができた教職員 (100%)	100%	A	○目標や評価はグループの教職員全員で検討し、保護者へ説明。今後も説明責任を果たす。
	○わかりやすく説明されたと答える保護者 (100%)	100%	A	○年2回の面談を実施。面談以外にも常に話ができるような体制を作った。学校と保護者との共通理解ができた。
	授業、活動がわかった、もっとやりたいと答える幼児児童生徒 (100%)	100%	A	○個の実態に応じた授業を行った。ICTを活用することで興味関心の幅が広がったり、自分から行えることが増えたりした。今後もICTの充実を図る。
○他者との交流を大切にし、幼児児童生徒の周囲への興味・関心を広げ、生	近隣の学校や園との交流及び共同学習の実施 (5回以上)	87%	B	○コロナ禍で直接交流としての回数を重ねることが難しかったが、作品交流や手紙交流などを行うことができ

活体験の拡大と社会性を育む。				た。
	交流籍を活用した希望者の居住地校交流の実施 (100%)	100%	A	○希望者全員実施。互いに話し合い、交流籍校からの協力も多く、集団の良さを生かした授業(発表や体育)に参加することができた。
	生活経験の幅を広げる近隣の施設等の利用 (5回以上)	60%	B	○コロナ禍のため、校外学習などの計画が実施できなかった。必要なことや今やれることなどに焦点を絞り行うことができた。
	学校や学部の行事が楽しみと答える幼児児童生徒 (100%)	100%	A	○小学部は今年度より児童会活動を行った。上級生が中心となり、活動をしていく中で、子どもたち全員が活躍の場があり、成長するきっかけとなった。
	身体を動かす遊び、運動、スポーツなどが好きと答える幼児児童生徒 (90%以上)	100%	A	○コロナ禍のため、活動に制限があったが、運動遊びを楽しむにしたり、自分からやりたいことを発言したりして積極的に取り組む姿が見られた。
個々に応じた社会参加につながる体験活動を積み重ね、保護者への情報提供を行う。	係活動、体験入学、職場体験などを計画的に進めることができた教職員 (90%以上)	87%	B	○コロナ禍ではあったが、できることを考えたり、形を変えたりしながら進めることができた。保護者へは情報提供も行った。
	保護者を対象とした学習会や見学会への参加者の満足度 (90%以上)	67%	B	○保護者へ進路の情報提供などを行ったが、保護者は将来に関する不安があるようである。今後は、面談を利用し、進路を意識した話、進路に向けた目標、今すべきことを整理して話していく。

○様々な力を育むための授業改善とカリキュラムマネジメント。	○全教職員が1人1授業公開を実施 (100%)	93%	B	○自分の授業を考えたり互いの授業を見合ったりする授業公開を今後も行っていく。
	○JTを通して日常的に意識して取組み学ぶことができた教職員 (100%)	100%	A	○普段のちょっとした学び合いや情報交換、互いに教え合ったり教えてもらったりする光景が多く見られた。今後も継続。
	授業研究会や障害特性に応じた外部研修への全教職員の参加(年間1回以上)	87%	A	外部研修の機会は減ったが、オンライン研修等で学ぶことができた。

イ 安全で生き生きと生活できる豊かな学習環境を整える

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
幼児児童生徒が、互いを尊重し、安全で安心して生き生きと学び、生活できる学習環境の整備と危機管理体制を整える。	「学校、寄宿舎が楽しい」と答える幼児児童生徒 (90%以上)	100%	A	○保護者評価では、項目「子どもたちが学校へ行くのを楽しみにしている」においてAB評価100%である。学校活動の内容も便りや連絡ノート等で発信し、伝えている。
	動植物とのかかわりの場の設定 (100%)	100%	A	○全学部で植物の栽培に取り組んだ。畑でできた野菜を給食で出してもらうなどもした。
	本を読んだり読み聞かせを聞いたりすることが好きな幼児児童生徒(90%以上)	100%	A	学級文庫を充実させるなど本に触れ合う機会を増やした。自主的に読む姿が見られた。
	避難地、福祉避難所の運営シミュレーションの実施	100%	A	静岡市と連携し、運営についての話し合いの機会を持った。今後も継続。

	防災防犯訓練及び研修会の教職員の満足度 (90%以上)	100%	A	学校防災推進協力校とし、自分を守ることができる子どもたちを目指し、学部での防災教育や保護者、市、県、学校所在地域との連携を行っている。来年度も継続。
	情報伝達訓練の実施 (3回以上)	100%	A	本年度よりマチコミメール(一斉送信)導入。迅速で正確な情報伝達ができるようになった。
	毎月の校内安全点検と問題点の早期改善、ヒヤリハットの共有 (100%)	100%	A	○定期的な点検、問題点の早期発見で、事前に安全対応ができた。今後月ごとの点検テーマを決めて実施。

ウ 専門性の維持・継承と授業力を向上させると共に、そのための時間を生み出す

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
教職員の専門性の維持・継承と授業力を向上させると共に、そのための時間を生み出す。	新任研修及び専門研修等への参加教職員の満足度 (90%以上)	100%	A	○定期的な実施により、専門性の継承にもつながってきた。今後も実施。
	研修を指導に活かすことができた教職員 (90%以上)	100%	A	歩行訓練士からの指導の内容を自立活動に活かすことができた。今後も継続。
	【再掲】OJTを通して日常的に意識して取組み学ぶことができた教職員 (100%)			アで評価
	業務の精選や会議の効率化等が図られ教材研究、授業準備の時間が増えたと答える教職員 (80%以上)	93%	A	全体に関わる業務の精選はできたが、教員個人の仕事量までには届いていない。今後も業務改善は継続。
	授業準備や教材研究に充てる時間が増えた教職員 (70%以上)	100%	A	教材研究の時間を確保することで、昨年度より授業準備の時間は増えた。今後も継続。

	勤務時間管理の順守 (100%)	93%	B	校内で定時退勤日の定着はほぼできている。今後も継続。更なる業務の効率化についても考えていく。
--	---------------------	-----	---	--

エ 視覚障害教育の情報発信の充実を図る

取組目標	成果目標	達成状況	評価	成果と課題
超早期から高等部まで切れ目のない支援体制(教育相談体制の充実)	相談者のニーズへの資料提供及び支援活動 (100%)	100%	A	全相談ニーズに対して支援活動を行うことができた。今後も継続。
	相談においてできる限り複数での対応。(50%以上)	90%	B	課員の教員は授業があるため、複数体制が取りにくかった。今後は学校体制として、複数名が半日単位で授業を空けたり、相談日を設定したりすることも考えていく。
	参加者や関係機関の満足度 (90%以上)	100%	A	〇コロナ禍のため、計画していた内容を、オンラインを使って実施した。
	最新の情報提供 (各部毎月1回程度の更新)	100%	A	〇ホームページの掲載は各部行うことができた。今後も最新情報提供を継続。
	メディアへの掲載回数 (年間3回以上)	100%	A	〇コロナ禍であったが、オンラインで。

(2) 令和3年度取組目標・達成方法・成果目標

ワンチームによる継続的で持続可能な学校運営(しずしは つづくよ どこまでも)

ア【育む】一人一人に応じた、生活につながる基礎的・基本的な知識・技能及び習慣を育む

取組目標	達成方法	成果目標
基礎的・基本的な知識・技能の着実な習得と思考力・判断力・表現力を育む学習や生活をつくる。	個別の教育支援計画に基づき学校、寄宿舍、家庭がそれぞれの役割を共通理解して活用する。	個別の指導計画の目標と評価を具体的に設定することができた教職員 (100%) 〇わかりやすく説明されたと答える保護者 (100%)
	教材の工夫やICT機器の効果的な活用により主体的に学ぶ授業・生活づくりをする。	授業、活動がわかった、もっとやりたいと答える幼児児童生徒 (100%)

様々な力を育むための授業改善とカリキュラムマネジメント。	校内や外部の人材を活用して授業改善を進める。	全教職員が1人1授業公開を実施 (100%)
	県内3盲、総合教育センター、小中学校等の外部研修を積極的に活用する。	授業研究会や障害特性に応じた外部研修への全教職員の参加 (100%)
他者との交流を大切にし、幼児児童生徒の周囲への興味・関心を広げ、生活経験の拡大と社会性を育む。	近隣の学校園や居住地校との交流活動及び施設等の利用を計画的に実施する。	交流及び共同学習が楽しかった、充実していたと答える幼児児童生徒 (100%)
		生活経験の幅を広げる近隣の施設及び地域資源等の活用 (学期1回以上)
	身体を動かすことを楽しみスポーツやオリ・パラへの関心を高める。	身体を動かす遊び、運動、スポーツなどが好きと答える幼児児童生徒 (90%以上)

イ【守る】安全で生き生きと生活できる豊かな学習環境を整える

取組目標	達成方法	成果目標
幼児児童生徒が、互いを尊重し、安全で安心して生き生きと学び、生活できる学習環境の整備と危機管理体制を整える。	幼児児童生徒が、自分や友達の良さに気づき、安心して自分の考えや意見を伝えることができる環境を整える。	幼児児童生徒が安心して学ぶ環境を整えることができたと答える教職員 (100%)
	防災教育の充実と地域における防災体制の整備。	防災について理解が深まったと答える幼児児童生徒 (100%以上) 避難地、福祉避難所の運営シミュレーションの実施
	消防署、警察署との連携による防災、防犯訓練の実施。	防災防犯訓練及び研修会の満足度 (90%以上)
	毎月の校内安全点検の実施と問題点の早期改善を進める。	毎月の校内安全点検と問題点の早期改善、ヒヤリハットの共有

ウ【つなぐ】専門性の維持・継承と授業力を向上させると共に、そのための職場環境を整える。

取組目標	達成方法	成果目標
教職員の専門性の維持・継承と授業力を向上させると共に、そのための職場環境を整える。	新任者研修及び専門研修を精選して実施。 外部人材を活用した歩行指導等の研修を実施。	参加教職員の満足度 (90%以上) 研修を指導に活かすことができた教職員 (90%以上)

	<p>○JTを通して日常的に学び合う校内研修の実施。</p>	<p>自己や同僚の課題を共有して○JTに取り組み学ぶことができた教職員 (100%)</p>
	<p>教職員が自他を尊重したコミュニケーションに努め、風通しの良い職場環境を構築する。</p> <p>業務内容の精選や会議の効率化を図り、授業準備や教材研究の時間を確保する。</p>	<p>ハラスメントの根絶や同僚を尊重したコミュニケーションに努めることができた教職員(100%)</p> <p>業務の精選や会議の効率化等が図られ教材研究、授業準備の時間が増えたと答える教職員(80%以上)</p>

エ【つながる】視覚障害教育の情報発信の充実を図ると共に、地域との連携・協働体制を整備する。

取組目標	達成方法	成果目標
<p>個々に応じた社会参加につながる体験活動を積み重ね、保護者への情報提供を行う。</p>	<p>係活動、体験入学、職場体験などキャリア教育を計画的に実施する。</p> <p>保護者に向けて、進路や将来を見据えた情報提供に努める。</p>	<p>係活動、体験入学、職場体験を計画的に進めることができた教職員 (90%以上)</p> <p>進路や将来について理解が深まったと答える保護者 (100%)</p>
<p>超早期から高等部まで切れ目のない支援体制(教育相談体制の充実)</p>	<p>【超早期から小中高大へ】</p> <p>担当者を複数配置とし、相談体制の充実を図る。</p>	<p>相談者のニーズへの資料提供及び支援活動 (100%)</p>
	<p>【地域へ】</p> <p>理解推進、環境改善等の効果的な開催。</p>	<p>参加者や関係機関の満足度 (90%以上)</p>
<p>地域との連携・協働体制を整備する。</p>	<p>学校運営協議会の設置に向けた準備を進める。</p> <p>地域に向けた学校の取組みの発信と地域と学校課題について共有する。</p>	<p>学校の取組みや課題について理解することができたと答える学校評議員 (100%)</p>

4 監査対象期間における特色ある取組

年 度	取 組 概 要	成 果 及 び 課 題
令和2年度	<p>○令和2年度3年度学校防災推進協力校 テーマ『つながる防災教育』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを守る防災教育の実施 ・常葉大学木宮教授の指導助言 ・地域、県、市との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・『自分のいのちを守ることができる』ことを目指し、今までの避難訓練や防災計画書の見直し、防災教育、木宮教授を招いての職員研修を行った。来年度は、自分の命を守る防災教育を更に深め、自助から共助も考えることができるようにしていきたい。また、PTAへの理解推進を図るようにしていきたい。 ・防災センターや气象台などへは、実際に教員が出向き、話合いの機会を持ち、防災に対する最新の知識を学んだり、互いの連携を深めたりすることができた。今までは、学校所在地域との連携が少なかった。地域の評議員を学校に招き、実際の防災訓練を見学したり、避難場所などを見たりする機会を設けた。これからの連携が重要であると互いに再確認をした。来年度は災害時に地域住民とも連携が取れるようにしていきたい。
令和3年度	<p>○令和2年度3年度学校防災推進協力校 テーマ『人がつながる防災教育』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちを守る防災教育の実施 ・シェークアウト訓練(=避難訓練)の実施 ・防災アドバイザー(常葉大学木宮先生)からの指導助言 ・地域、県、市との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・「自分の命は自分で守る」を合言葉に幼児児童生徒は、繰り返しの避難訓練や学習の積み重ねという体験的な活動を通して、「自分で判断する」「自分で動く・命を守る行動をとる」に向けた動きができるようになった。視覚障害のある幼児児童生徒にとって、災害時には、周囲の状況を瞬時に見て判断するということは難しい。だからこそ、周囲の声や音を聴き、自分のできる行動をとれることが大切であることを全職員で確認できた。 ・視覚障害のある幼児児童生徒たちが、

		<p>学校外で被災した時に想像を巡らせ、地域で避難するためには、どんな力が必要か、そのためにどんな学習が必要かを考えたいという主体的な意見が出された。</p> <p>・今年度は、PTA 対象の防災講演会や親子非常食体験の実施、学校評議員会での説明報告を行うことができた。今後も地域とのつながりを大事に、情報の発信と収集に努め、本校の役割を担うようにしていきたい。</p>
--	--	---

5 教職員について																									
(1) 異動状況																									
補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任 寄宿舎指導員	寄宿舎指導員	事務長	主査	主任	主事	本務職員計	教諭(臨時)	寄宿舎指導員(任期)	寄宿舎指導員(臨時)	実習助手(臨時)	非常勤講師	栄養士(臨時)	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	乳幼児発達支援指導員	スクールカウンセラー	臨時職員計	合計	
	区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任 寄宿舎指導員	寄宿舎指導員	事務長	主査	主任	主事	本務職員計	教諭(臨時)	寄宿舎指導員(任期)	寄宿舎指導員(臨時)	実習助手(臨時)	非常勤講師	栄養士(臨時)	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	乳幼児発達支援指導員	スクールカウンセラー	臨時職員計	合計
転出者	0	0	1	2	0	0	1	1	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
退職者	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
転入者	0	0	0	1	0	0	1	1	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
新任者	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2	4
再任用(退職)	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
再任用(新任)	0	0	0	2	0	0	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
差引増減	0	1	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 現員数																									
補職名 区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任 寄宿舎指導員	寄宿舎指導員	事務長	主査	主任	主事	本務職員計	教諭(臨時)	寄宿舎指導員(任期)	寄宿舎指導員(臨時)	実習助手(臨時)	非常勤講師	栄養士(臨時)	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	乳幼児発達支援指導員	スクールカウンセラー	臨時職員計	合計	
	区分	校長	副校長	教頭	教諭	養護教諭	主任 寄宿舎指導員	寄宿舎指導員	事務長	主査	主任	主事	本務職員計	教諭(臨時)	寄宿舎指導員(任期)	寄宿舎指導員(臨時)	実習助手(臨時)	非常勤講師	栄養士(臨時)	非常勤労務職員	非常勤嘱託員	乳幼児発達支援指導員	スクールカウンセラー	臨時職員計	合計
男	1	1	0	10	0	0	6	1	0	0	1	20	1	0	1	0	0	0	2	0	0	0	4	24	
女	0	0	0	14	1	0	1	0	1	1	0	18	0	1	0	1	1	1	3	1	1	1	10	28	
計	1	1	0	24	1	0	7	1	1	1	1	38	1	1	1	1	1	1	5	1	1	1	14	52	

(3) 健康管理について

ア 令和2年度

目的	内容	成果及び課題
○全職員が心身ともに健康で、円滑に教育活動を推進するため、健康の保持増進に努める。	・職員の健康診断を実施し、結果に基づき、事後措置及び健康管理医からの指導助言を受けた。	・職員の健康診断受診率は、今年度も100%だった。精密検査や再検査へ受診できるよう、学部内で勤務の調整をし、対象者全員が受診できた。
	・職員安全衛生委員会を通して、職員の心身の健康状態の把握に努めた。常に心身が健康である教職員を目指した。	・安全衛生委員を中心に、職員の心身の健康状態を把握し、早めの対応を行った。大きく心身の健康を崩す教職員はいなかった。 ・毎週水曜日17時30分の定時退勤日定着した。他の曜日は21時施錠も、ほとんど守れている。今後も互いの心身の健康に気遣う風土を守り、全職員の健康の保持増進に努める。
	・新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、職場の環境衛生面の改善点などを協議し、よりよい環境を目指した。	・新型コロナウイルス感染防止策ガイドラインを作成し、教職員に周知をした。職員室内の環境では、飛沫防止シートの設置や共有する物の消毒の徹底を行った。今後も気を緩めることなく、感染防止対策を継続しながら、よりよい職場の環境衛生面を考えていく。

イ 令和3年度

目的	内容	成果及び課題
○全職員が心身ともに健康で、円滑に教育活動を推進するため、健康の保持増進に努める。(継続)	・職員の健康診断を実施し、結果に基づき、事後措置及び健康管理医からの指導助言を受けた。	・職員の健康診断受診率は、今年度も100%であり、精密検査や再検査へ受診できるよう、学部内で勤務の調整をし、対象者全員が受診できた。
	・職員安全衛生委員会を通して、職員の心身の健康状態の把握に	・安全衛生委員を中心に、職員の心身の健康状態を把握し、共

	<p>努め、常に心身が健康である教職員を目指した。</p>	<p>通理解を図り、早めの対応を心掛けた。大きく心身の健康を崩す教職員はいなかった。</p>
	<p>・継続して新型コロナウイルス感染症防止対策を行い、職場の環境衛生面の改善点などを協議し、よりよい環境を目指した。</p>	<p>・国や県が示す感染症レベルに留意し、校内感染症ガイドラインの軽微な修正や確認をするなどして周知した。職員室等の執務室では、隣席との間にアクリル板を設置し、飛沫感染防止を目指し環境を整えた。</p>

(4) 教職員の研修について

ア 令和2年度

目的	内容	成果及び課題
<p>○幼児児童生徒の授業づくりについて研修し、幼児児童生徒が主体的・対話的に学ぶことができる授業を目指す。</p>	<p>・チームを組み、研修を進めていく。それぞれのチームで授業公開を行い、研修を進めていく。一人一授業公開を行い、全員が授業づくりについて実践をする。</p>	<p>・授業公開では、授業設計シートを作成し、チーム全員で検討、実践、反省をして、次の授業に生かすことができた。一人一授業公開では、授業カードを作成し実践した。それぞれ研修テーマを持ち、全員が授業づくりを実践することができた。今後も継続。</p>
<p>○視覚障害教育やその他の障害に対する指導に関する専門性、教科指導力の向上を目指す。</p>	<p>・OJTを推進し、一人一人の教職員の持つ良さや専門性、教科力、生活指導などを生かし、互いに研修し合う。</p>	<p>・学校全体でOJTという言葉が盛んに使われるようになった。今行っていることがOJTであると再認識した教職員も多くもっとやりたかったという声も挙がった。今後も教職員それぞれの特色ある良さを伝えながら専門性や教科力などを全員が引き継げるようにOJTを推進していく。</p>

○舎生の自立を目指し、社会性を育てることができる。(寄宿舎)	・事例舎生に対し、全指導員で係わることができる研修を行う。学部とも連携する。	・舎生が自分で理解し身につくことを目指し、一つ一つの動作を丁寧に一緒に考えながら生活指導を行った。学校とも連携したことで、一貫した指導が行え、定着に結び付いた。
--------------------------------	--	--

イ 令和3年度

目的	内容	成果及び課題
○幼児児童生徒が主体的・対話的に学ぶことができる授業づくり、生活の場づくりを目指す。	・幼児児童生徒の実態に応じた授業研究のできるチーム編成で研修を進める。それぞれのチームで一人一授業公開を通して全員が授業づくりについて実践する。	・チームで各授業について検討後、支援工夫を考え、授業公開に臨んだ。一人一授業公開では、授業設計シートの他、学びの想定シートや、参観者のアドバイスシート等を活用し、評価、反省をすることができた。 ・各チームが研修テーマを持ち全員で授業づくり、生活の場づくりに向けて実践できた。今後も継続。
○視覚障害教育やその他の障害に対する指導に関する専門性、教科指導力の向上を目指す。	・OJTを推進し、一人一人の教職員の持つ良さや専門性、教科力、生活指導などを生かし、互いに研修し合う。	・昨年度に引き続き、OJTという言葉は浸透し、どうすればより活用できるかを考える課長も出てきた。押しつけにならず、自ら学ぶ意欲を育てつつ、専門性の維持向上につなげる使命も担う。今後も継続。
○舎生の自立を目指し、社会性を育てることができる。(寄宿舎)	・全指導員で、本校ならではの生活力を育てるための実態把握の方法を考え、検討する研修を行う。学部とも連携する。	・舎生の今を捉え、項目を精選し、すぐに役立つチェック表の作成に取り組んだ。この表を活用することで、舎生自身もこの先のステップアップに向けて考えることができると期待している。来年度運用・改善を進める。

6 防災対策について

(1) 目的

- ・ 校内防災意識の向上を図り、災害時の安全確保と、実動性がある防災組織を確立する。
- ・ 校内施設の安全点検を行い、安全な環境の保持に努める。

(2) 内容と成果及び課題

ア 令和2年度

	実施日	内 容	成果及び課題
学 校	5月8日	避難経路確認	・ 防災研究推進校として学校全体で防災教育について見直すことができた。 ・ 地震避難訓練では学校防災講演会講師のアドバイスを受けグラウンド避難から校舎内避難へ移行した。総合防災訓練では被災後の備蓄品の位置や使用方法を確認し、より効率のよい方法について検討することができた。
	5月14日	火災避難訓練	
	5月15日	新任者研修	
	9月1日	171 訓練	
	9月4日	引き渡し訓練	
	9月17日	地震避難訓練・総合防災訓練	
	11月17日	防犯研修	
	11月24日	学校防災講習会	
	2月2日	地震避難訓練	
	2月8日	防災中間報告会	
寄宿舎	5月25日	防災オリエンテーション	・ 訓練後、舎生と参加した職員からアンケートを取り、舎生からの疑問や不安を聞き取ったり、問題点や改善点をまとめた。り、問題点を改善点を取り入れたことで、様々な想定での訓練を実施できた。
	6月25日	火災避難訓練	
	7月14日	地震・避難訓練	
	9月2日	地震・火災避難訓練	
	10月21日	地震避難訓練（早朝）	
	11月12日	火災避難訓練（早朝）	
	3月1日	防災訓練のまとめ	
全 体	毎月1回	施設設備の保守管理	・ 震災に備えた環境維持に努めることができた。

イ 令和3年度

	実施日	内 容	成果及び課題
学 校	4月20日	避難経路確認	<防災研修・訓練>防災研究推進校2年目として地震避難訓練ではシェイクアウト訓練を中心に進めた。宮城県立視覚支援学校とのオンライン研修では被災記録から本校の課題について考えることができた。
	5月20日	火災避難訓練	
	6月24日	地震避難訓練	
	7月28日	宮城盲オンライン防災研修	
	8月31日	地震避難訓練	
	10月8日	地震避難訓練	
	11月22日	総合防災訓練・引き渡し	

	11月26日	親子非常食体験	<防災学習>防災対策アンケートを実施・まとめて発表したり「みんなの防災すごろくのゲーム」を通して、防災意識を育てたりすることつながった。総合的な学習や社会の授業で体験を通して学んだことに、自分の意見を加え、防災新聞を作成、発表した。
	12月7日	学校防災講演会	
	1月17日	地震避難訓練	
	1月18日	防災研究最終発表会	
	2月21日	福祉避難所運営マニュアル説明会(行政と指導者)	
寄宿舎	4月8日	防災オリエンテーション	・非常時を想定し早朝等の時間帯に避難訓練を実施できた。 ・非常時や実生活につながる、考えて学ぶ取り組みとして防災クロスロードに取り組んだ。被災時の行動で友達が考える最善の価値観を学ぶことができた。少数意見を聞く大切さを学んだ。
	5月11日	地震避難訓練	
	6月22日	火災避難訓練	
	7月8日	地震火災複合訓練	
	9月21日	防災訓練	
	10月20日	早朝地震避難訓練	
	3月10日	防災訓練・学習のまとめ	
全体	毎月1回	施設設備の保守管理	・校内の安全を守るために、点検、修繕を実施し、環境整備に努めた。

7 学校開放について

(1) 教育相談活動

ア 目的

- ・ 個人や関係機関等、相談者のニーズに応じた教育相談を行い、適切な支援に努める。
- ・ 行事・研修課の実施や積極的な情報発信を行い、視覚障害教育に対する理解を図る。

イ 教育相談実績と成果及び課題

(ア) 令和2年度

相談形態	対象と述べ回数等	成果及び課題
来校しての相談	就学前乳幼児 19人延べ 188回	・コロナ禍の中で中止になった相談や来校を控えた対象児もあったが、昨年度をやや上回る相談があった。
	小学生 16人延べ 36回	
	中高大学生 10人延べ 55回	
	成人 12人延べ 16回	
訪問しての相談	県立こども病院 6件	・低視力でも一般校に通う生徒が増加し、学校生活や受験のた
	小学校・中学校 10件	

	幼稚園・保育園・施設	6件	めの配慮など中学生以上の相談が増えている。 ・こども病院の院内相談は、患者や予約の制限があり相談件数も少なかった。
	特別支援学校	4件	
	羅眼科	3件	

(1) 令和3年度

相談形態	対象と述べ回数等	成果及び課題
来校しての相談	就学前乳幼児 15人延べ 255回	・コロナ禍で来校を控えていただき、電話やメールで対応してきた結果、それらを含めると昨年度を上回る相談があった。
	小学生 13人延べ 87回	
	中高大学生 7人延べ 75回	
	成人 13人延べ 24回	
訪問しての相談	県立こども病院 14件	・訪問相談は、緊急性のあるものに絞って応じたため件数が若干減った。 ・県立こども病院の院内相談は、昨年より増えた。また、そこから学校での教育相談に発展継続するケースも出てきた。
	小学校・中学校 5件	
	幼稚園・保育園・施設 5件	
	特別支援学校 2件	
	羅眼科 0件	

ウ 相談関連行事実績と成果及び課題

(ア) 令和2年度

実施日	内容と参加人数	成果及び課題
6月11日	小学部説明会 1人	・コロナ禍によりサマースクールは中止とし、お楽しみ会はオンラインで歌や手遊びを中心とした活動で実施した。 ・例年2回実施していた担当者研修会は参加者数を限定して1回のみ実施したが、申し込みは上限の12人を超えた。次年度は2回実施しニーズに応えたい。 ・保護者学習会では、沼津視覚特支の弱視の教員に受験や大学生活、一人暮らしについて話をしてもらった。本校保護者と合わせて16人の参加があり、関心の高さがうかがえた。
6月26日	中学部説明会 0人	
8月6日	お楽しみ会（歌遊び等） 3人	
9月29日	幼稚部説明会 1人	
9月30日	担当者研修会 12人	
10月29日	保護者学習会 5人	
11月18日	保護者学習会 1人	
12月16日	お楽しみ会（クリスマス会） 2人	
1月21日	保護者学習会 8人	
2月4日	小学部体験入学 1人	
2月5日	中学部体験入学 0人	
2月16日	幼稚部体験入学 1人	
2月25日	お楽しみ会（ふれあい遊び） 3人	

(1) 令和3年度

実施日	内容と参加人数	成果及び課題
6月15日	小学部説明会 0人	・コロナ禍によりお楽しみ会(夏の水遊び)は中止し、サマースクールは時期を変更して、ウインタースクールとして実施した。お楽しみ会はクリスマス会として、2回に分散して実施した。 ・担当者研修会は参加者数を限定して1回実施したが、申し込みは上限の10人を超えた。相談内容の緊急性により参加可否を検討し、内容に関わらず、継続して個別相談で対応した。
6月24日	中学部説明会 0人	
7月30日	お楽しみ会(水遊び等) 0人	
9月28日	幼稚部説明会 1人	
9月30日	担当者研修会 11人	
12月16日	お楽しみ会(クリスマス会) 2人	
2月3日	小学部体験入学 0人	
2月4日	中学部体験入学 2人	
2月15,17日	幼稚部体験入学 4人	
2月25日	お楽しみ会(ふれあい遊び) 3人	

(2) 理解啓発活動・ボランティア等の受入

ア 令和2年度

新型コロナウイルス感染症対策のため、学校受け入れは1件のみ

ボランティア等	人数	内容等
静岡大学教職大学院	24人	学校見学・体験

* 理解啓発活動で、市町の中部地区管内福祉課及び保健センター等を訪問 42ヶ所

* 他機関への協力で、研修会講師として参加 6回

イ 令和3年度

新型コロナウイルス感染症対策のため、学校受け入れは1件のみ

ボランティア等	人数	内容等
静岡大学教職大学院	19人	学校見学・体験

* 理解啓発活動で、市町の中部地区管内福祉課及び保健センター等を訪問 19ヶ所

* 他機関への協力で、研修会講師としてオンライン参加 2回

(3) 施設開放

ア 令和2年度

新型コロナウイルス感染症対策のため、開放実績なし

イ 令和3年度

場所	日数(日)	利用者数(人)	利用種目等	利用者負担額
運動場	5	93	障害者スポーツ	年間電気料金 12,217円
体育館	32	396	バレーボール、太極拳、中華武術	
合計	37	489		

事務執行の根拠法令調

項 目	根拠法令
1 学校教育に関する こと	教育基本法（第1条、第2条） 学校教育法（第1条、第2条、第3条、第72条、第73条、第74条、第76条、第77条、第78条、第79条、第82条） 学校教育法施行規則 学校保健安全法（第5条） 学校給食法（第1条、第2条、第3条、第4条） 特別支援学校の幼稚部及び高等部における学校給食に関する法律（第3条） 静岡県立学校設置条例 静岡県立特別支援学校学則 静岡県就学指導委員会規則 特別支援学校幼稚部教育要領 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領 特別支援学校高等部学習指導要領 教育職員の免許状に関する規則
2 学校管理・運営に 関すること	学校教育法（第137条） 地方教育行政の組織及び運営に関する法律（第33条） 静岡県立学校管理規則 教育公務員特例法（第21条、第22条） 学校保健安全法（第15条、第23条、第27条） 静岡県立学校職員安全衛生管理規程 静岡県立学校の施設等の開放に関する要綱 学校図書館法（第3条、第4条） 静岡県立学校処務規程 静岡県手数料徴収条例 特別支援学校への就学奨励に関する法律（第1、2、3、4条） 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行令 特別支援学校への就学奨励に関する法律施行規則 特別支援教育就学奨励費負担金等及び要保護児童生徒援助費補助金交付要綱 要保護児童生徒援助費補助金及び特別支援教育就学奨励費補助金交付要綱 いじめ防止対策推進法（第8条）

学 校 施 設 の 概 要

1 面積及び所有区分

(令和4年2月28日現在)

区 分	面 積 m ²	所 有 内 訳					摘 要
		県 有 m ²	国 有 m ²	市町村有 m ²	後援会有 m ²	民 有 m ²	
学 校 敷 地	13,046.64	8,165.64	4,881.00				
内 校 舎 敷 地 記 運 動 場 敷 地	6,483.64	6,219.64	264.00				
	6,563.00	1,946.00	4,617.00				
校 舎	建 1,218.69	1,218.69					
	延 3,190.00	3,190.00					
体 育 館	建 690.45	690.45					
	延 690.45	690.45					
その他の建物	建 207.65	207.65					
	延 207.65	207.65					
寄 宿 舎	建 436.34	436.34					
	延 708.98	708.98					
プ ー ル	150m ²	150m ²					4 コース 15m × 10m

2 配置・規模等

(1) 校舎等の配置図



(2) 学校施設の規模等(法面・演習林等を除く)

区分	学校敷地面積	校舎延面積	運動場面積
当校	13,046.64 m ²	3,190.00 m ²	6,563.00 m ²
県平均	18,817.67 m ²	6,361.36 m ²	5,247.28 m ²

在籍生徒調

(令和4年4月1日現在)

学年	課程 区分	幼稚部				小学部				中学部				高等部保健医療科				合計				
		定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	計	定員	男子	女子	合計	
1年 (3才)	入学者		1	1	2						3		3	8	2		2	6	1	7		
	増加 減少																					
	現在		1	1	2						3		3		2		2	6	1	7		
2年 (4才)	入学者					2	1	3		1	1		8					3	1	4		
	増加 減少																					
	2年時当初					2	1	3		1	1							3	1	4		
	増加 減少		1		1														1		1	
	現在		1		1	2	1	3		1	1								4	1	5	
3年 (5才)	入学者			1	1								8	2		2		2	1	3		
	増加 減少																					
	2年時当初			1	1									2		2		2	1	3		
	増加 減少																					
	3年時当初			1	1									2		2		2	1	3		
	増加 減少			1	1															1	1	
現在			2	2									2		2		2	2	4			
4年	入学者					1	1	2										1	1	2		
	増加 減少																					
	2年時当初					1	1	2										1	1	2		
	増加 減少																					
	3年時当初					1	1	2										1	1	2		
	増加 減少					1	1	2										1	1	2		
	4年時当初						1	1											1	1		
	増加 減少																					
現在						1	1											1	1			
5年	入学者					2		2										2		2		
	増加 減少																					
	2年時当初					2		2										2		2		
	増加 減少																					
	3年時当初					2		2										2		2		
	増加 減少																					
	4年時当初					2		2										2		2		
	増加 減少																					
現在					2		2										2		2			
6年	入学者						1	1											1	1		
	増加 減少																					
	2年時当初						1	1											1	1		
	増加 減少																					
	3年時当初						1	1											1	1		
	増加 減少																					
	4年時当初						1	1											1	1		
	増加 減少																					
	5年時当初						1	1											1	1		
	増加 減少																					
現在						1	1											1	1			
合計		2	3	5		4	3	7		4		4		4		4	14	6	20			

入学志願者及び入学者数調

区 分		平成30年度			令和元年度			令和2年度			令和3年度			令和4年度		
		小 学 部	中 学 部	高 保 健 理 療 科	小 学 部	中 学 部	高 保 健 理 療 科	小 学 部	中 学 部	高 保 健 理 療 科	小 学 部	中 学 部	高 保 健 理 療 科	小 学 部	中 学 部	高 保 健 理 療 科
生徒定員(A)				8			8			8			8			8
募集者数(B)				8			8			8			8			8
志願者数	男			1			1			2						2
	女															
	計(C)			1			1			2						2
受検者数	男			1			1			2						2
	女															
	計(D)			1			1			2						2
合格者数	男			1			1			2						2
	女															
	計(E)			1			1			2						2
志願倍率(C)/(B)				0.13			0.13			0.25						0.25
受検倍率(D)/(B)				0.13			0.13			0.25						0.25
入学者数	男	2	1	1	1		1			2	2	1			3	2
	女		2		1						1					
	計(F)	2	3	1	2		1			2	3	1			3	2
充足率(F)/(A)				0.13			0.13			0.25						0.25

卒業生の動向調

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
高等学校 (本科)	全日制				
	定時制				
	通信制				
特別支援学校高等部					
その他高等学校等					
大学等	大学(学部)				
	短期大学(本科)				
	大学・短大の通信教育学部等				
	その他大学等				
特別支援学校高等部専攻科					
専修学校(専門課程)					
専修学校(一般課程)・各種学校					
公共職業能力開発施設等					
就 職			1		1
上記以外					
不詳・死亡					
計(卒業生総数)		0	1	0	1

(再掲)「上記以外」のうち、社会福祉施設等入所、通所者

区 分		中学部	高 等 部		合 計
			本 科	専攻科	
児童福祉施設					
障害者支援施設					
(うち就労系支援事業利用者)					
医療機関					
計					

生徒の状況

1 生徒の出身地域及び通学方法

(1) 出身地 (令和4年2月28日現在) (単位:人)

市町名	静岡市	焼津市	牧之原市	藤枝市	浜松市	合計
生徒数	9	3	1	1	2	16
構成比%	56.3%	18.8%	6.2%	6.2%	12.5%	100%

(2) 通学方法 (令和4年2月28日現在) (単位:人)

区分	徒歩	自家用車	自家用車バス	バス	電車	電車・バス	合計
生徒数	0	13	0	0	0	3	16
構成比%	0%	81.3%	0%	0%	0%	18.7%	100%

2 部(クラブ)の加入状況

高等部 (令和4年2月28日現在) (単位:人)

区 分		運動部	文化部	未加入者	計
部(クラブ)数			1	/	1
男子	1年				
	2年		2		2
	3年		1		1
	計(A)		3		3
	構成比				
	女子	1年			
2年					
3年					
計(B)					
構成比					
(A+B)			3		3
合計	構成比				

3 障害別児童生徒数

(令和4年2月28日現在)(単位:人)

区分		1年 (2歳)	2年 (3歳)	3年 (4歳)	4年 (5歳)	5年	6年	合計	学級数
幼稚部	単一障害			1				1	1
	-								
	-								
合計				1				1	1
小学部	単一障害	3		1	2		1	7	3
	重複障害			1		1	2	4	2
	肢体重複								
合計		3		2	2	1	3	11	5
中学部	単一障害	1						1	1
	重複障害								
	肢体重複								
合計		1						1	1
高等部	単一障害		2	1				3	2
	重複障害								
	肢体重複								
合計			2	1				3	2

4 起因疾患別児童生徒数

(令和4年2月28日現在)(単位:人)

区分	網膜色素 変性症	緑内障	未熟児 網膜症	無虹彩症	小眼球	その他	計
幼稚部						1	1
小学部			1	2		8	11
中学部						1	1
高等部	1	1				1	3
計	1	1	1	2		11	16

預金調

(令和4年2月28日現在)

金融機関名	預金種類	口座番号	口座名義人	残高 (円)	摘要
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金		静岡県立静岡視覚特別支援学校 資金前渡者 鈴木 隆臣	0	給与
静岡銀行 池田支店	無利息型 普通預金		(自振口) 静岡県立静岡視覚特別支援学校 資金前渡者 鈴木 隆臣	0	公共料金等 口座振替
静岡銀行 池田支店	普通		静岡視覚特別支援学校奨励費 代理受領者 鈴木 隆臣	0	就学奨励費 受領
残高合計				0	

郵券等受払調

(令和4年2月28日現在)

(単位:枚、円)

区分	種類	令和2年度						令和3年度						差引現在高 枚数 金額	摘要	
		繰越		受入		払出		繰越		受入		払出				
		枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額	枚数	金額			
郵券	1円券									3	3	3	3			文書 発送用
"	10円券	3	30			2	20	1	10	5	50	6	60			"
"	63円券									3	189	3	189			"
"	84円券	2	168					2	168	17	1,428	19	1,596			"
"	120円券	4	480			4	480									"
計			678				500		178		1,670		1,848		0	
タクシー チケット	静岡市タクシー 事業協同組合	31						31						31		市内 連絡用
計		31						31						31		
iTunes Card	1,500円分		640		1,500		1,690		450		3,000		1,960		1,490	アプリ ダウン ロード
	3,000円分				9,000		9,000									
	5,000円分				10,000		5,670		4,330					4,330		
	7,500円分		900				900									
	10,000円分				10,000		10,000									
計			1,540		30,500		27,260		4,780		3,000		1,960		5,820	

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和2年度)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)		
					平成31年度	令和2年度	左のうち、31年度からの繰越額分
(13)委託料	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		222,200	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費		12,386,673	
計					10,467,978	12,608,873	0
(15)工事請負費							
計					13,810,900	0	0
(17)公有財産購入費						0	
計					0	0	0
(18)備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育総務費		356,000	
	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		1,721,500	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		286,000	
計					1,441,460	2,363,500	0
(19)負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費		7,500	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費		39,100	
計					100,500	46,600	0
(22)補償、補填及び賠償金						0	
計					0	0	0

委託料等歳出予算執行状況節別集計表

(令和3年度)

(令和4年2月28日現在)

節名	会計	款	項	目	執行済額(円)	
						うち、2年度からの繰越額分
(12)委託料	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	0	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	129,646	
	一般会計	教育費	学校教育費	健康体育費	11,035,200	
計					11,164,846	0
(14)工事請負費						
計					0	0
(16)公有財産購入費					0	
計					0	0
(17)備品購入費	一般会計	教育費	教育委員会費	教育管理費	1,156,100	
	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	176,000	
計					1,332,100	0
(18)負担金、補助及び交付金	一般会計	教育費	特別支援学校費	特別支援学校管理費	55,600	
計					55,600	0
(21)補償、補填及び賠償金					0	
計					0	0

委託料に関する調

(令和2年度)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要	
				当初額	変更増減額	計							
1	(事務関係) 給食調理 (配膳)	サンワフーズ(株)	円 31,374,000	円 30,326,400	円 156,000 26,329 84,273	円 30,540,344	一般	29. 8. 1 ~ 32. 7. 31	2. 5. 29 2. 6. 30 2. 7. 31 2. 8. 31	円 858,000 858,000 858,000 942,273 (小計)3,516,273	給食及び舎食の調理・配膳	29長期	
2	給食調理 (配膳)	(株)シーアンドシー	40,485,500	39,600,000	0	39,600,000	一般	2. 8. 31 ~ 5. 7. 31	2. 9. 30 2. 10. 30 2. 11. 30 2. 12. 25 3. 1. 29 3. 2. 26 3. 3. 31 3. 4. 30	1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 (小計)8,800,000	給食及び舎食の調理・配膳	2長期	
3	グリストラップ 汚泥収集・運搬	グリーン・シャワー(株)	33,000	33,000	0	33,000	随契	2. 8. 3 ~ 3. 3. 31	2. 8. 31 3. 4. 5	16,500 16,500 (小計)33,000	グリストラップ 汚泥収集運搬	随契1号 (少額)	
4	グリストラップ 汚泥処分	静和エンパイロメント(株)	37,400	37,400	0	37,400	随契	2. 8. 3 ~ 3. 3. 31	2. 9. 15 3. 4. 9	18,700 18,700 (小計)37,400	グリストラップ 汚泥処分	随契1号 (少額)	
5	照明器具に係る 安定器調査	日静電気工業(株)	73,700	73,700	0	73,700	随契	2. 6. 8 ~ 2. 7. 20	2. 7. 30	73,700 (小計)73,700	照明器具に係る 安定器調査	随契1号 (少額)	
6	産業廃棄物収集 運搬処理	(株)総合美装ワタナベ	89,100	89,100	0	89,100	随契	2. 8. 4 ~ 2. 10. 20	2. 10. 9	89,100 (小計)89,100	混合廃棄物収集・運搬・処分	随契1号 (少額)	
7	産業廃棄物収集 運搬処理	(株)総合美装ワタナベ	59,400	59,400	0	59,400	随契	3. 2. 2 ~ 3. 3. 25	3. 4. 5	59,400 (小計)59,400	混合廃棄物収集・運搬・処分	随契1号 (少額)	
	事務関係 計	7件								12,608,873			
	工事関係 計	0件								0			
	合計	7件								12,608,873			
参考 1	自家用電気工作 物保安管理	静岡ビル保善(株)		2,112,000	0	2,112,000		2. 4. 1 ~ 3. 3. 31				自家用電気工作 物点検	静岡西高校
2	消防用設備等保 守点検	(有)コーセイ産業		3,246,353	0	3,246,353		2. 4. 1 ~ 3. 3. 31				消防関係諸設備 点検	中央特別 支援学校
3	プール浄化装置 保守点検	大学産業(有)		809,600	25,300	784,300		2. 4. 17 ~ 2. 11. 20				プール浄化装置 保守点検	静岡西高校
4	可燃物収集運搬 処分	(株)静岡清掃企業		運搬料 @12,650 処分料 @11.0/kg	0	運搬料 @12,650 処分料 @11.0/kg		2. 4. 1 ~ 3. 3. 31				可燃物収集運搬 処分	静岡農業 高校
5	警備	エスピートム(株)		11,088,000	0	11,088,000		1. 10. 1 ~ 6. 9. 30				警備業務	駿河総合 高校 31債務
6	建築基準法12条 に基づく定期点 検	(有)コーセイ産業		3,647,600	0	3,647,600		2. 9. 15 ~ 3. 3. 31				建築基準法12条 に基づく定期点 検業務	静岡商業 高校
7	給食可燃物収集 運搬処分	(株)荒井産業		運搬料 @1,100 処分料 @11.0/kg	0	運搬料 @1,100 処分料 @11.0/kg		2. 4. 9 ~ 3. 3. 31				給食可燃物収集 運搬処分	静岡北特別 支援学校
8	ガスヒートポン プ点検	(株)ユアーズ静岡		2,860,000	0	2,860,000		2. 5. 26 ~ 3. 3. 31				ガスヒートポン プ点検業務	静岡高校
9	防鼠防虫	(株)総合美装ワタナベ		330,000	0	330,000		2. 7. 1 ~ 3. 3. 31				給食施設の防鼠 防虫業務	清水特別 支援学校
	計	9件											

委託料に関する調

(令和3年度)
(令和4年2月28日現在)

整理番号	委託業務名	受託者	当初設計金額	契約金額			契約締結方法	契約期間	支出年月日	金額	委託業務の内容	摘要	
				当初額	変更増減額	計							
1	(事務関係) 給食調理 (配膳)	(株)シーアンドシー	円 40,485,500	円 39,600,000	円 0	円 39,600,000	一般	2. 8.31 ~ 5. 7.31	3. 5.31 3. 6.30 3. 7.30 3. 8.31 3. 9.30 3.10.29 3.11.30 3.12.24 4. 1.31 4. 2.28	円 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 1,100,000 (小計)11,000,000	給食及び舎食の調理・配膳	2長期	
2	産業廃棄物収集運搬処理	(株)静岡資源	42,196	42,196	0	42,196	随契	3. 5.28 ~ 3. 7.15	3. 6.23	42,196 (小計)42,196	産業廃棄物(蛍光管、乾電池)収集・運搬・処分	随契1号(少額)	
3	グリストラップ汚泥収集・運搬	グリーン・シャワー(株)	33,000	33,000	0	33,000	随契	3. 8. 2 ~ 4. 3.31	3. 8.31	16,500 (小計)16,500	グリストラップ汚泥収集・運搬	随契1号(少額)	
4	グリストラップ汚泥処分	静岡エンパイロメント(株)	37,400	37,400	0	37,400	随契	3. 8. 2 ~ 4. 3.31	3. 8.31	18,700 (小計)18,700	グリストラップ汚泥処分	随契1号(少額)	
5	産業廃棄物収集運搬処理	(株)静岡資源	25,850	25,850	0	25,850	随契	3. 8.24 ~ 3.10.15	3.10.18	25,850 (小計)25,850	産業廃棄物(業務用冷蔵庫1台)収集・運搬・処分	随契1号(少額)	
6	産業廃棄物収集運搬処理	(株)総合美装ワタナベ	61,600	61,600	0	61,600	随契	3. 9.28 ~ 3.11.15	3.10.29	61,600 (小計)61,600	混合廃棄物収集・運搬・処分	随契1号(少額)	
7	産業廃棄物収集運搬処理	(株)総合美装ワタナベ	92,400	92,400	0	92,400	随契	4. 2. 1 ~ 4. 3.30		0 (小計)0	混合廃棄物収集・運搬・処分	随契1号(少額)	
	事務関係計	7件	40,777,946	39,892,446	0	39,892,446				11,164,846			
1	アスベスト及びPCB他含有調査	(株)サイエンス	708,400	459,800	0	459,800	随契	4. 2.10 ~ 4. 3.31				校外外壁等のアスベスト及びPCB他含有調査	随契1号(少額)
	工事関係計	1件	708,400	459,800	0	459,800				0			
	合計	8件	41,486,346	40,352,246	0	40,352,246				11,164,846			
参考1	自家用電気工作物保安管理	静岡ビル保善(株)		2,112,000	0	2,112,000		3. 4. 1 ~ 4. 3.31				自家用電気工作物点検	静岡西高校
2	消防用設備等保守点検	旭産業(株)		5,302,000	0	5,302,000		3. 4. 1 ~ 4. 3.31				消防関係諸設備点検	中央特別支援学校
3	プール浄化装置保守点検	三笠産業(有)		880,000	0	880,000		3. 4.15 ~ 3.11.19				プール浄化装置保守点検	静岡西高校
4	可燃物収集運搬処分	(株)静岡清掃企業		運搬料 @13,090 処分料 @11.0/kg	0	運搬料 @13,090 処分料 @11.0/kg		3. 4. 1 ~ 4. 3.31				可燃物収集運搬処分	静岡農業高校
5	警備	エスピートム(株)		11,088,000	0	11,088,000		1.10. 1 ~ 6. 9.30				警備業務	駿河総合高校 31債務
6	建築基準法12条に基づく定期点検	(有)コーセイ産業		4,882,900	0	4,882,900		3.10. 6 ~ 4. 2.28				建築基準法12条に基づく定期点検業務	静岡商業高校
7	給食可燃物処分	(株)荒井産業		運搬料 @1,100 処分料 @11.0/kg	0	運搬料 @1,100 処分料 @11.0/kg		3. 4. 8 ~ 4. 3.31				給食可燃物収集運搬処分	静岡北特別支援学校
8	ガスヒートポンプ点検	光陽エンジニアリング(株)		2,574,000	0	2,574,000		3. 5.24 ~ 4. 3.31				ガスヒートポンプ点検業務	静岡高校
9	防鼠防虫	(株)総合美装ワタナベ		363,000	0	363,000		3. 7. 1 ~ 4. 3.31				給食施設の防鼠防虫業務	清水特別支援学校
	計	9件											

補助金支出調

(令和2年度)

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交付		事業完了		摘要
								年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
1	県立学校行事キャンセル料支援事業費補助金	木村美紀外2名	県立学校行事キャンセル料支援事業費補助金交付要綱	中学部修学旅行キャンセル料の補助	円 7,500	円 7,500	100%	2 ・ 12 ・ 4	円 7,500	2 ・ 12 ・ 23	円 7,500	2 ・ 11 ・ 25	2 ・ 11 ・ 26	
計		3	/	/	7,500	7,500	/	/	7,500	/	7,500	/	/	/

補助金支出調

(令和3年度)

(令和4年2月28日現在)

整理番号	対象事業名	交付先	補助の根拠	事業の実績	総事業費	補助金額	補助率	交付決定		交付		事業完了		摘要
								年月日	金額	年月日	金額	年月日	確認年月日	
					円	円			円		円			
計			/	/			/	/		/		/	/	/

該当なし

負担金支出調

(令和2年度)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区盲学校長会会費	中部地区盲学校長会	会則	盲教育及び振興	円 3,000	2. 5.28
2	中部地区盲学校副校長・教頭会会費	中部地区盲学校副校長・教頭会	会則	"	1,000	2. 6.30
3	甲種防火管理講習受講料	静岡市防災協会	開催要項	防火管理者の配置	5,100	2. 7.22
4	日本弱視教育研究会年会費	日本弱視教育研究会	会則	盲教育及び振興	6,000	2. 7.22
5	全国盲学校長会会費	全国盲学校長会	会則	"	20,000	2. 8.12
6	全国盲学校副校長・教頭会年会費	全国盲学校副校長・教頭会	会則	"	4,000	2. 8.17
計		6件	/	/	39,100	/

負担金支出調

(令和3年度)
(令和4年2月28日現在)

整理番号	負担金名	交付先	負担根拠	事業内容	負担金額	支出年月日
1	中部地区盲学校長会会費	中部地区盲学校長会	会則	盲教育及び振興	円 3,000	3. 6.11
2	全日本盲学校教育研究大会参加費	全日本盲学校教育研究大会運営委員会	開催通知	"	3,500	3. 7.28
3	日本弱視教育研究会年会費	日本弱視教育研究会	会則	"	6,000	3. 7.29
4	全国盲学校長会会費	全国盲学校長会	会則	"	20,000	3. 7.30
5	第62回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会参加費	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会群馬県実行委員会	開催通知	"	4,000	3. 8. 4
6	全国盲学校副校長・教頭会年会費	全国盲学校副校長・教頭会	会則	"	4,000	3. 9. 7
7	甲種防火管理講習受講料	静岡市防災協会	開催要項	防火管理者の配置	5,100	3.10. 1
8	第62回日本弱視教育研究会全国大会(宮城大会)参加費	日本弱視教育研究会	開催通知	盲教育及び振興	10,000	3.12.20
計		8件	/	/	55,600	/

建 築 工

(参考)

整理番号	予算科目	工 事 名	工 事 所	当 初 設計金額	契 約 金 額			契約 締結 方法
					当 初 額	変更増減額	計	
1	教育管理費	令和2年度 [第32-Z0522-01号] 清水西高等学校ほ かガス管改修工事	静岡市 清水区 青葉町 地内外	円 23,914,000	円 23,100,000	円 0	円 23,100,000	制限 付一 般
2	教育管理費	令和2年度 [第32-Z2406-01号] 静岡視覚特別支援 学校他特別教室空 調設備設置工事	静岡市 駿河区 曲金地 内外	44,660,000	44,000,000	5,390,000	49,390,000	一般
3	教育管理費	令和2年度 [第32-Z2406-01号] 静岡視覚特別支援 学校特別教室空調 設備設置工事(電気 設備)	静岡市 駿河区 曲金 6-1-5	7,359,000	7,018,000	561,000	7,579,000	指名
4	教育管理費	静岡視覚特別支援 学校トイレ洋式化 工事	静岡市 駿河区 曲金 6-1-5	12,221,000	11,432,300	154,000	11,278,300	指名
5	教育管理費	清水特別支援学校 他換気扇設置工事	静岡市 駿河区 曲金地 内外	15,037,000	10,560,000	231,000	10,791,000	随契
6	教育総務費	令和2年度 静岡県立下田高等 学校外114校校内L AN整備工事	下田市 蓮台寺 地内外	499,730,000	461,571,220	33,421,300	494,992,520	一般
		合計	6件	602,921,000	557,681,520	39,449,300	597,130,820	

令和3年度 なし

事 調

(令和2年度)

受注者	着手完成 (予定)年月日	支出済額	工 事 概 要	公有 財産 台帳	摘 要
宮城設備(株)	R2. 6.16 R2. 9.18	円 23,100,000	ガス管改修	-	本庁経理 静岡土木事務所
(株)イヌイ	R2. 7.17 R3. 1.15	49,390,000	学習棟 RC造3階 特別教室6室 管理棟 RC造3階 特別教室5室 他静岡聴覚特別支援学校特別教室 に係る機械設備工事一式	済	本庁経理 設備課
(株)テクノミックスメンテ	R2. 8.27 R3. 1.15	7,579,000	学習棟 RC造3階 特別教室6室 管理棟 RC造3階 特別教室5室 に係る電気設備工事一式	済	本庁経理 設備課
(株)鎌田配管工事店	R3. 1.20 R3. 3.26	11,278,300	和風便器撤去 16箇所 洋風便器設置 16箇所	-	本庁経理 教育施設課
日将(株)	R3. 1.27 R3. 3.26	10,791,000	清水特別支援学校換気扇設置 45台 静岡視覚特別支援学校換気扇設置 20台 静岡聴覚特別支援学校換気扇設置 26台	-	本庁経理 教育施設課 随契7号 (有利)
西日本電信電話(株)静岡支店	R2. 8. 5 R3. 3.26	494,992,520	校内LAN整備工事一式 ・フロアスイッチ更新 ・教室への無線LANアクセスポイント設置 ・電源キャビネット設置	-	本庁経理 教育政策課
		597,130,820			

公 有 財 産 調

(令 和 2 年 度)

区 分	令和2年3月31日現在		増		減		令和3年3月31日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,698,364		千円 35,055		千円 28,467		千円 1,704,952	
土地	m ² 8,165.64	1,481,480					m ² 8,165.64	1,481,480	
立木竹	本 118	2,437					本 118	2,437	
建物	m ² 2,553.13 4,797.08	145,131				22,439	m ² 2,553.13 4,797.08	122,692	価格改定
工作物	個 85	69,316	15	35,055	1	6,028	個 99	98,343	内訳書のとおり
公有財産に準ずるもの		240						240	
電話加入権	件 7	240					件 7	240	

(令 和 3 年 度)
(令 和 4 年 2 月 28 日 現 在)

区 分	令和3年3月31日現在		増		減		令和4年2月28日現在		摘要
	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	数量又は面積	台帳価格	
行政財産		千円 1,704,952		千円		千円 18		千円 1,704,934	
土地	m ² 8,165.64	1,481,480					m ² 8,165.64	1,481,480	
立木竹	本 118	2,437			2	18	本 116	2,419	伐採
建物	m ² 2,553.13 4,797.08	122,692					m ² 2,553.13 4,797.08	122,692	
工作物	個 99	98,343	1				個 100	98,343	整理替え
公有財産に準ずるもの		240						240	
電話加入権	件 7	240					件 7	240	

借地借家等調

(令和4年2月28日現在)

整理 番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	借料		契約期間	所有者又は 契約者氏名	用途
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	敷地	静岡市駿河区 曲金六丁目1 - 5	田	学校 敷地	4,881 m ²	円	円	3 . 4 . 1 ~ 4 . 3 . 31	農林水産省	校舎、運 動場用地 (本庁契 約7筆 分)
	計					4,881		3,092,372			

事務機器等の債務負担行為又は長期継続契約に係る調

(令和3年度)
(令和4年2月28日現在)

区分	事業名 又は 契約名	内 容	契約額	(契約額の年度別内訳)				
				2年度	3年度	4年度	5年度	年度
長期継続契約	給食調理 (配膳)業 務委託	学校給食、寄 宿舍食の調 理・配膳 (契約日) 令和2年8月25日	39,600,000	円 8,800,000	円 13,200,000	円 13,200,000	円 4,400,000	円

行政財産貸付・使用許可調

(令和4年2月28日現在)

整理番号	区分	種別	所在地	地目		数量 又は 面積	貸付料又は 使用料		貸付又は 使用許可 期間	貸付又は 使用許可 を受けた者の 氏名	貸付・使用 許可目的
				台帳	現況		単価	年額			
1	土地	学校敷地	静岡市駿河区曲金六丁目1-5	田	学校敷地	電柱2本 支線2本 支線柱1本	1,500	円 7,500	2.4.1 ~ 7.3.31	中部電力パワーグリッド(株)静岡支社 静岡営業所長	電力供給
2	土地	学校敷地	"	田	学校敷地	m ² 10.06		免除	2.4.1 ~ 7.3.31	静岡市長	防災倉庫
3	土地	学校敷地	"	田	学校敷地	m ² 0.60		免除	2.4.1 ~ 7.3.31	静岡市長	避難地標識板
4	建物	事務所建	"		鉄筋コンクリート造	m ² 0.01		免除	2.4.1 ~ 7.3.31	静岡市長	同報無線戸別受信機
5	建物	住宅建	"		鉄筋コンクリート造	m ² 0.01		免除	2.4.1 ~ 7.3.31	静岡市長	同報無線戸別受信機
6	土地	学校敷地	"	田	学校敷地	m ² 107.63		免除	31.4.1 ~ 34.3.31	静岡聴覚特別支援学校校長	静岡聴覚特別支援学校寄宿舎(静岡県財産規則第37条による使用承認)
7	土地	学校敷地	"	田	学校敷地	m ² 0.36		免除	31.4.1 ~ 34.3.31	静岡南警察署長	交通信号柱(静岡県財産規則第37条による使用承認)
8	土地	学校敷地	"	田	学校敷地	電柱1本	円 1,500	円 1,500	29.4.1 ~ 34.3.31	西日本電信電話(株)静岡支店長	電気通信線路
9	土地	学校敷地	"	田	学校敷地	m ² 12.04		免除	2.4.1 ~ 7.3.31	静岡市長	公衆用市道路
合計								9,000			

主要備品調

(令和4年2月28日現在)

整理 番号	区 分		品名・規格	利 用 状 況	購入年月	購入金額
	大・中	小				
1	10-99	その他の教育用器具	オプタコン一式	学期1回(年間3日) 自立活動授業用	S61.11	5,750,000 円
2	01-13	その他の厨房器具	真空冷却機	毎日(年間200日) 給食調理用	H25.3	3,339,000
3	02-01	パーソナルコン ピュータ(一式)	県立学校ICT環境 整備機器一式	毎日(年間200日) 授業用	R2.1	3,320,339
4	05-06	その他の環境化学機 器	その他の環境化学機 器	6月~3月(年間56日) 学校給食食材の放射能測定	H24.3	2,730,000
5	02-01	その他の情報処理機 器	校内LANサーバ ー式	毎日(年間365日) 校内ネットワーク用	H13.3	2,211,300
6	01-13	加熱器具	スチームコンベク ションオーブン	毎日(年間200日) 給食調理用	H23.2	1,575,000
7	01-05	複写機	立体コピーシステム	週1回(年間50日) 教材作成用	H24.12	1,470,000
8	01-05	印刷機	点字製版機 足踏式	学期1回(年間3日) 点字資料作成用	S55.3	1,369,000
9	01-04	その他の収納保管庫	防災倉庫	毎日(年間365日) 非常時物資備蓄保管用	H9.3	1,290,590
10	02-01	ワードプロセッサ (一式)	バーサブレイル	月1回(年間10日) 教授用として使用	H4.3	1,290,000
11	10-99	その他の教育用器具	点字プリンター	毎日(年間260日) 教材作成用	H23.10	1,239,000
12	02-01	その他の情報処理機 器	点字プリンター	週3日(年間100日) 点字資料作成用	R2.11	1,036,200
13	10-99	その他の教育用器具	点字プリンター	週3日(年間100日) 点字資料作成用	H26.3	1,018,500
14	02-01	レーザープリン ター・スキャナ	点字プリンター	週3日(年間100日) 点字資料作成用	H15.3	1,006,950
15	02-01	その他の情報処理機 器	点字プリンター	毎日(年間260日) 教材作成用	H16.11	1,003,800
16	01-13	その他の厨房器具	食器消毒保管機	毎日(年間200日) 給食調理用	H26.3	980,700
17	10-99	その他の教育用器具	低周波治療器	週1回(年間40日) 理療科授業用	H23.11	861,000
18	02-01	その他の情報処理機 器	校内LANサーバ ー式	毎日(年間365日) 校内ネットワーク用	H21.7	793,800
19	01-05	印刷機	点字印刷機	週3日(年間120日) 点字資料作成用	S55.12	737,000
20	10-99	その他の教育用器具	自動間欠牽引装置 Aタイプ(2人用)	学期1回(年間3日) 臨床実習用	H23.11	735,000

職 員 調

(令和4年4月1日現在)

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	校長	鈴木 隆臣			.	
2	副校長	村田 健二			.	() () . . .
3	事務長	鈴木 訓生	事務総括	
4	教諭	西山 満	高 保健理療		.	()
5	教諭	馬場 俊一	小		.	
6	教諭	内記 優子	研修主任 小		.	
7	教諭	松本 明子	高 保健理療主任		.	()
8	教諭	岡田 実保	中学部主事 中		.	()
9	教諭	渡部 仁乃	小	 ~ . . .
10	教諭	松永 訓幸	中		.	()
11	教諭	伊丹 誠	中		.	()
12	教諭	山本 尚美	幼稚部主任 幼		.	()
13	教諭	柳田 智恵子	小		.	() . . . ~ . . .
14	教諭	長橋 理恵	幼小学部主事 小		.	()
15	教諭	久保田 芙実	教務主任 小		.	
16	教諭	小松 孝弘	高等部主事 高 保健理療		.	()
17	教諭	渥美 京子	小		.	()
18	教諭	鈴木 小織	生徒指導主事 小		.	
19	教諭	桑田 園子	小		.	
20	教諭	落合 将之	寮務主任 中		.	()

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
21	教諭	渡邊 博和	高 保健理療		.	()
22	教諭	海野 考美	自立活動主任 小		.	()
23	教諭	木村 雄次	保健主事 高 保健理療		.	()
24	教諭	佐野 智乃	小		.	()
25	教諭	河守 悠	小		.	()
26	教諭	櫻井 美成	幼		.	()
27	教諭	池田 萌乃	中		.	
28	養護教諭	佐竹 典世			.	
29	寄宿舍 指導員	山梨 晶代	寄宿舍		.	
30	寄宿舍 指導員	飯塚 一弘	寄宿舍		.	
31	寄宿舍 指導員	木村 和也	寄宿舍		.	
32	寄宿舍 指導員	藤島 裕樹	寄宿舍		.	
33	寄宿舍 指導員	神谷 皇億	寄宿舍		.	
34	寄宿舍 指導員	森 貴司	寄宿舍		.	
35	寄宿舍 指導員	小杉 泰紀	寄宿舍		.	
36	主査	高田 真理	会計・管財		.	..
37	主事	佐野 宏樹	給与・庶務		.	..
38	主任	滝口 泉	栄養士		.	.. ~ ..
平均年数					.	

非常勤職員等

整理番号	職名	氏名	事務分担	住所	勤務年数	摘要
1	教諭(臨)	佐野 寛征	中		.	()
2	実習助手(臨)	杉山 佳子	高保健理療		.	
3	寄宿舎指導員(任)	松下 三恵子	寄宿舎		.	
4	寄宿舎指導員(臨)	東 亮宏	寄宿舎		.	
5	栄養士(臨)	伊藤 佳菜	栄養士		.	
6	会計年度任用職員	中島 律子	看護師		.	
7	会計年度任用職員	秋本 啓子	乳幼児発達支援指導員		.	
8	会計年度任用職員	酒井 満寿美	寄宿舎支援員		.	
9	会計年度任用職員	原田 弘志	技能員		.	
10	会計年度任用職員	高橋 信五	技能員		.	
11	会計年度任用職員	神野 唯津子	新型コロナ対策業務スタッフ		.	
12	会計年度任用職員	松本 彰子	新型コロナ対策業務スタッフ		.	
13	会計年度任用職員	杉山 直美	新型コロナ対策業務スタッフ		.	
14	会計年度任用職員	今泉 依子	スクールカウンセラー		.	
15	学校医	宮田 嘉世子	内科		.	
16	学校医	森山 明夫	整形外科		.	
17	学校医	羅 錦營	眼科		.	
18	学校医	長島 泰行	耳鼻科		.	
19	学校歯科医	服部 ともこ	歯科		.	
20	学校薬剤師	鈴木 寛	薬剤師		.	

職員の年齢調

(令和4年4月1日現在)

年 齢	人 員	摘 要
20歳未満	0人	
20歳以上30歳未満	3	
30歳以上40歳未満	8	
40歳以上50歳未満	11	
50歳以上56歳未満	11	
56歳以上61歳未満	4	再任用職員2人
61歳以上	1	再任用職員1人
計	38	平均年齢 45歳10月

健 康 管 理

1 3年度受診状況

区 分	内 容	(1) 未受診の理由
受 診 状 況	受診者数 38 人	
	職員数 38 人	
受 診 率	100 %	
県 平 均 受 診 率	100 %	

2 4年度在籍者の健康管理区分結果

健 康 管 理 区 分			人数	(1) 管理区分 A ~ C 2 該当者 に対する措置状況
A	休養のため必要な期間、勤務を休止させる。		0人	舎監業務をさせない等の措置を講じている。
B 1	勤務時間を短縮し、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張をさける。また、必要に応じ勤務場所、勤務内容の変更を行う。	要治療	0人	
B 2		要経過観察	0人	
C 1	勤務をほぼ平常に行ってよいが症状によっては、時間外、休日、宿日直勤務及び長期又は遠方への出張等勤務に制限を加える必要がある。	要治療	0人	(2) 未区分の理由 ア 産休・育休 0人 イ 新規採用 1人 ウ 自己都合による未受診 0人 エ その他 () 0人
C 2		要経過観察	0人	
D 1	平常の勤務でよい。	要治療	18人 (18)	
D 2		要経過観察	15人 (15)	
D 3		医療不要	4人 (4)	
区分者計			37人 (37)	
未区分者数			1人	
合 計			38人 (38)	